

おすすめ書籍紹介

書籍の森

企業と私たちを信頼で結ぶ「CSRレポート」

企業は、規模が大きくなるほど地域社会や人、環境に対して大きな影響を与えるようになる。愛され続ける企業であるために「企業の社会的責任=CSR(※1)」という倫理観が問われるようになってきた。この倫理観に沿って経営を見直す勇気ある(?)企業が発行する報告書がCSRレポートと言われる。(※1:CSR=Corporate Social Responsibility)

CSRレポートは、企業と私たちを信頼でつなぐ手紙のような存在だ。シャープ多気工場のレポートには「近隣の皆様に情報をお届けします」と書かれ、工場見学を終えた地域の方からこんなコメントが寄せられている。「町の中にデンと構えた工場の中が一体どうなっているのだろうと気になっていたが、環境などへの配慮に真剣に取り組んでいることがわかり身近に感じられるようになった」。マックスバリュ中部の報告書は、地域貢献の「黄色いシートキャンペーン」や地産地消の取り組みなどを伝えている。身近な企業が、我々や社会にどんな貢献をし、どんな価値観を持って経営しているのかを知る手がかりが、ここにある。なぜ市民活動センターにCSRレポートを置くのかと言えば、市民活動団体を応援することと同様に、企業の社会貢献に対しても、その活動の意義を受け止め、地域社会への橋渡しをしたいと考えているからだ。もしあなたが市民活動を始めるなら、社会問題に取り組むパートナーとしても、ご覧になってはいかがだろうか。何かヒントを得られるかもしれない。



現在、約170社のCSRレポートがご覧になれます。

作ろうみんなの書籍の森

閲覧図書三重県一を
私たちと一緒に
目指しませんか?

ご協力ありがとうございます。
おかげさまで 400冊 突破。

松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

書籍をご寄贈いただきました。ご協力感謝申し上げます。

・あいの会「松坂」様 他

インターネットで活用していますか? 市民活動情報サイト

「松阪市市民活動情報サイト」は、参加者が持ち寄る情報で構成されているホームページで、すでに84の市民活動団体や行政が登録し、活動紹介や事業案内を行っています。松阪市役所のサイトのトップページからもリンクされていますので、注目度も抜群。あなたの団体はもう参加していますか? 登録は無料です。団体の情報発信にお役立て下さい。登録など、詳しいお問合せは、松阪市市民活動センター 0598-26-0108 担当/福井、中川まで

▼松阪市市民活動情報サイト
<http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>



募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回発行は2月中旬です。稿締切は2007年1月27日(土)です。担当/澤、北西

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-26-0108 0598-25-3801 (予約専用) FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用	会議室	大会議室……机 10 椅子 30 (400円)	機材等	印刷機(紙持込) / コピー機
	小会議室 1…机 4 椅子 12 (200円)	マイク/プロジェクター 他		
	小会議室 2…机 6 椅子 18 (200円)	会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。		
	小会議室 3…机 4 椅子 12 (200円)	利用申込		
料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。	外会議室……机 8 椅子 24 (300円)		申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。	



▼松阪市市民活動センターホームページ
<http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

▼市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
<http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>

▼市民活動情報サイト(携帯版)
<http://genki365.net/gnkm/i/>

※ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。



市民が創る市民活動の情報紙—アロマ

発行…松阪市市民活動センター

目次

- ちょっと気になる団体さん……………1
- いせ・松坂・epartsリユースPC寄贈プログラム……………2
- 事業報告「CBセミナーが開催されました」……………2
- 事業報告「センターが氏郷まつりに出展」……………3
- 事業報告「広報力アップ講座が開催されました」……………3
- 事業報告「フログ強化月間」……………3
- 市民活動について考える……………3
- NPO川柳……………3
- 「書籍の森」関連……………4
- 情報サイトをご活用ください……………4
- センターからのお知らせ……………4



活気ある松阪であるため、シニア層にも元気であってもらいたいですよね。それにはまず心と身体の健康が第一。豊かな生活を送るために生活習慣の改善を勧めている「ますますこれからの会」。参加者だけでなく活動内容も、“ますますこれから”期待されそうです。

地域のニーズを把握すること
地域に根ざした活動をする



ますますこれからの会 津田真さん



会で行なうKJ法の様子。KJ法とは、カードを用いてテーマの解決に役立つヒントやひらめきを生み出す技法。90歳になる人生の先輩は「あまり難しいことさせないで(笑)」と言いつつも、この会を楽しんでいたようです。

ますますこれからの会

ヘルスプロモーションという活動をご存知の方も多いのではないだろうか。WHO(世界保健機関)が世界に提唱する、21世紀の新たな健康戦略で、「人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセスである」と定義している。ますますこれからの会の代表、津田真さんは、歯科医という立場から、このヘルスプロモーションをベースに活動している。「昔のような、医療者主体の治療だけでは、人は幸せにならないと気付いたんです。医師と患者という立場ではなく、同じ地域の住人として、同じ目線に立ち、知識や技術面からアドバイスしています。この会に来ていただく方とは、コミュニケーションを最も大切にしていますね」と、暖かみのあるハキハキとした言葉遣いで語る。

ますますこれからの会は、歯科院長である津田さんと、数名のスタッフで構成されている。当センターなどを利用し、70歳以上の独居の方を中心に、健康というキーワードを通じ、自立や生きる喜びの再確認を軸としたシニア世代の交流の場を提供している。この会では主観的QOL(※1)アンケートも行なっている。この中の一つに、地域や市に提言したいことを3つ書いてもらうという欄がある。この回答には地域が抱える独自の課題が浮かび上がる。生活に根ざした意見を聞くには適切な方法ではないだろうか。その声を代弁し、提言するといった、個人と地域・市とのパイプ役も担っている津田さんは「松阪の人は、おとなしい方が多いですからね」と微笑む。

※1:QOL=Quality of Lifeの略。『生活の質』と訳される。身体的、心理的、社会的に満足いく状態であること。また、人が人として有意義に生きるにはどうしたらいいか、というテーマのこと。

このような、シニア世代を対象とした集まり以外にも、地元幼稚園に向き、虫歯予防に効果の高いフッ素化合物の普及にも努めている。「ここでは、お母さん方も交えて、幼稚園という小さい社会のネットワークづくりから始めます。『おやつは控えましょう!』とか『歯をしっかりと磨きましょう!』というような話はしません。これがなぜ実行できないのか? 虫歯がなければ、どんな良い結果があるのかを考えてもらうんです」と、歯の健康のみに特化せず、生活環境が改善されるよう、子育て支援という観点からもアドバイスしている。

話す相手に対し、心の扉を開いて接すれば、おのずと打ち解けてくれるという津田さんの言葉には、無理に押し付けるような感覚はない。独特な抑揚のある口調で、スツと耳に馴染む感覚。話し方にも、経験で得たコツがあるようだ。独居、老老介護といった切実な問題は、私たちの身近でも増えてきている。こうした世代は身体の健康はもとより、精神面でのケアが重要になる。話を聞いてあげることで、社会からの孤立感を取り除き、第2、第3の人生を楽しむよう助言する。今後も地域に密着した活動を心がけたいと語る津田さんは「長生きしても後悔ばかりではつまらないでしょ?」と、笑みを浮かべる。



地元、花岡幼稚園での活動の様子。この会はシリーズ化されている。適切な歯の磨き方って、意外と難しいんですよね。

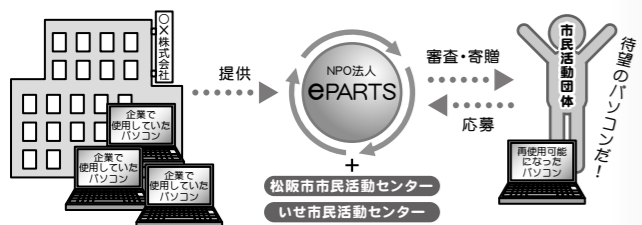
再生パソコンを寄贈します

いせ・松阪・eparts
リユースPC寄贈プログラム

近年の高度な情報化、パソコンの普及に伴い、より活発にITを取り入れる市民活動団体が増えてきています。松阪市市民活動センターでは、市民活動における、ITに関するサポート、団体間のネットワークづくりも視野に入れた「いせ・松阪・epartsリユースPC寄贈プログラム」を実施いたします。NPO法人「eparts(イーパーツ)」(本拠地・東京都)主催で行なわれるこのプログラムは、リユースパソコン(※1)をNPOや市民活動団体に無償(諸経費のみ負担)で寄贈する事業です。今回は、松阪市市民活動センター、いせ市民活動センターと連携を図り、松阪及び、伊勢周辺で活動されている団体を対象に公募します。応募団体には、当センタースタッフが細やかなヒヤリングを行い、書類だけでは得にくい情報を把握した上で、寄贈団体選定にあたります。寄贈当日には、PC活用講座や寄贈団体交流会なども行なわれます。今後、市民活動センターを中心とした、寄贈団体同士のネットワーク構築なども期待されます。団体の情報化推進はもちろん、活動の幅を広げるチャンスになるのではないのでしょうか。

(※1)…リユースパソコンとは
企業から、使わなくなったパソコンを提供してもらい、初期化、再インストールを施し、再使用するのガリユースパソコンです。

いせ・松阪・epartsリユースPC寄贈プログラムの流れ



今後の展望と高まる期待。 コミュニティ・ビジネスセミナーが開催されました。

「活動資金がなくて…」。素晴らしい市民活動でも資金難で解散や停滞となってしまうことは、非常に残念なことです。当センターでもこのお悩みをお聞きすることが多いため、活動資金にまつわるセミナーを開催することとしました。助成金、寄付金以外でお勤めするのが「コミュニティビジネス(CB)」です。CBとは福祉や環境などの地域課題をビジネスの手法で解決する取組みのこと。「地域社会の再生」、「雇用の創出」などの効果もあり、2007年問題と言われる大量退職者が増える今後、市民活動の参加推進にも当てはまりそうです。これらの効果があるため「地域づくりの新しい手法」とも言われています。

11月28日(火)に三重県主催(当センター共催)により、県内で先行的に「CBセミナー」を開催しました。「NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター」代表理事 永沢映さんの講演と、「NPO法人三重県アマチュア軽音楽協会」と「うきさとむら」の2団体から地域の事例紹介をしていただきました。CBの説明とともに、市民活動で利益を生むコツの紹介もあり、地域課題と活動資金難が同時に解決できそうな期待感がありました。熱意やアイデアで資金難を乗り越えることは、「豪商の街」と言われる松阪にふさわしい手法がもしもありませんか。ご興味のある方はインターネットで「コミュニティビジネス」と検索してみてください。



センター長の独り言

甲種防火管理者資格を取得してきました。安心して施設をご利用ください。事業だけでなく基本的な管理業務も大切にしていきたいと思います。

○寄贈目的

非営利団体の情報化支援と交流の促進

○寄贈対象

伊勢及び松阪周辺で活動をしている公益性をもつ活動(ボランティア活動など)を行っている団体で、諸事情により情報化が遅れている団体

※以下の団体は寄贈対象から除外させていただきます。

営利団体、個人、幼稚園から高校までの学校および大学、寄贈PCを再配布する目的の団体、日本国外に位置する非営利団体、医院、病院、政府・行政機関、政治・労働・宗教団体

○寄贈PCについて

Windows 2000、文書作成ソフト、表計算ソフトなど(Office 2000 または Works7)と、ウイルス対策ソフトインストール済みのノート型リユースパソコン20台程度

※PCの送料は自己負担となります。 ※マウスは付属していません。

※再インストール用のCD-ROMは付属していません。再インストールが必要な場合は、eparts(イーパーツ)で行います。この際、5,250円(実費)はご負担ください。

○申込方法

申請書は松阪市市民活動センター窓口に設置してあります。指定の申請書を松阪市市民活動センターに提出してください。申請の前に同意事項がございます。申請書をご確認ください。

○公募期間

平成18年12月11日(月)～平成19年1月10日(水)(当日消印有効)

○選考方法及び寄贈式について

厳正な選定の上、平成19年1月27日(土)に、結果発表と贈呈式を「いせ市民活動センター」で行います。また、同日、パネルディスカッション、交流会(2分程度のスピーチ)も同時に開催します。申請団体は必ずご参加くださいますようお願いいたします。

※参加できない場合、寄贈取り消しになる場合もあります。

詳しくは、松阪市市民活動センター 担当/福井まで

企業の社会貢献活動のPR



【出展のご感想】
多くの市民の皆様が参加される氏郷まつりに出展させていただき感謝しております。弊社の企業活動そのものが地域貢献活動につながる活動になればと考えております。今後も、環境社会貢献活動に取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願致します。



【出展のご感想】
伊勢の「琉飛会」と共に参加致しました。青空の中たくさんの方にご覧いただき、楽しんでもらえたのではないかと思います。これからも地域活動としてのエイサーを宜しくお願い致します。



氏郷まつりで「市民活動」「社会貢献活動」をPRしました

市民活動団体のPR

店舗から街へ飛び出した団体アピールショップは、今後もイベントやまつりでお目にかかります。応援よろしくお願致します。



【出展のご感想】
朝見地区は農業をする上で、半農半のお米や新鮮な野菜作りへの取り組みを多くの市民の方にアピールでき、嬉しく思っています。今後も、皆様の声を直接お聞きしながら、より良い地域づくりに反映して参ります。

広報力アップ講座を開催しました

講師は夕刊三重新聞社。「小さな団体も新聞を活用し、多くの方の理解を得ることが組織を強くします。読む相手の立場になってわかりやすい情報提供を」とお話しいただきました。参加者には効果的なチラシ作りのコツや「忙しい記者」の目に留まる情報提供の仕方などが盛り込まれた全30ページの特製テキストが手渡されました。



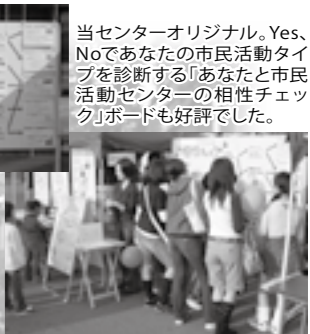
松阪市市民活動センターでは、市民活動や社会貢献活動を広く知っていただくため、氏郷まつりに出展し、3つのPRを行いました。

- ・市民活動団体のPR
- ・企業の社会貢献活動のPR
- ・市民活動センターのPR

祭り来場者だけでなく、ご出展の皆様にも喜んでいただけました。皆様、ありがとうございました。



この支援金運動は、市民活動をサポートいただくお気持ちを育むためにも、今後も進めていきたいと思います。センターの「サービス向上」と「コスト削減」にご理解をよろしくお願致します。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました!



市民活動センターのPR

さらに多くの方々にセンターを知っていただくため、設備、サービスなどをご紹介しました。同時に市民活動団体支援金を募りました。

反応も良好だったブログ強化月間

目的によって広報手段は使い分けたいですね。ブログはどうでしょう? センターは『ブログ活用講座(主催:市民フォーラム21)』の実施後、スタッフ全員でブログに書き込む強化月間を実施。センターに、より親しみを持っていただけるよう努めました。その結果…閲覧者は前月の2倍に、来館者やスタッフ間のコミュニケーションに効果が現れました。

今回も、市民活動先駆者の方に、想いを綴っていただきました。

市民活動元年

まちづくりの応援メディア・スタッフライター

NPOという言葉が日本の新聞紙上で定期的に登場するようになったのは、1995年1月の阪神淡路大震災以降の話です。新聞というものは非常に保守的なメディアで、新たに注目されるようになった言葉が日常紙面に登場するようになるまで結構時間がかかる傾向があります。しかし、逆を言えば、新聞に出るようになればその言葉が社会的に認知されるようになったことを意味します。

で、阪神淡路大震災のとき注目されたのは、神戸に全国から復旧支援のために集まったボランティアの人々の活動でした。また、NPO(※NGOという言葉はこの時点で新聞にも用いられ認知されていまして、この時点でも、のちの造語「市民活動」という言葉もなく、あるいはボランティアという表現でした。)

このころで、どうして震災復旧の活動でボランティアがそれほど注目を集めるようになったのかと言え、その活動の量と質、即応性、組織力がそれ以前のボランティアに対するイメージを大きく変えたことが理由でしょう。

それ以前は、ボランティアはどちらかと言えば控えめで、縁の下の力持ちとして社会的側面を頑張っている人たちというイメージが強かったのですが、大震災の被災者という、圧倒的に多数の社会的弱者の出現と、一時的にせよ生じた行政機能の麻痺という非日常な状態を補いつなぎ合う役割を果たしたのがボランティアだったのです。

この時点で、ボランティアが担う社会的領域はうんと広いものであることを実際の活動の内容を持って世の中の人に知らせることになりました。ボランティアは市民社会全般にその都度、その時代に必要とされる補完的活動を担う主体であることが理解され、また、新たな人材がボランティア市場に供給され、量質ともに変化していったのでしよう。

このようなボランティアなマインドを持った市民に支えられた公益的活動が市民活動(市民活動のうち組織としての活動をNPO活動。個人と地域と行政と企業との間のつなぎ目をつなぐポンドであり、縫い合わせる力を持った社会機能を支える市民たちの活動としてしっかりと根を張っていつてほしいものです。

※NGOとはノン・ガバメンタル・オーガニゼーションのこと。非政府組織と訳します。ここでは、国境を越えて活動するテーマを持ったNPOのことをNGOと定義しておきます。

「募集内容」NPO、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由」

【対象者】どなたでも応募できます。NPO関係者以外の方も大歓迎

【応募方法】件名「NPO川柳」と記入の上、左記をメールで送信ください。①句未発表作品に限り、複数応募も可(※氏名(雅号)筆名でも可)②住所、電話番号

【宛先】katsudou@nactv.ne.jp

【締切】平成19年1月27日 必着

【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて

賞は何もございませんが、想いや願いを川柳で楽しく伝えて交流しましょうよ!

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。

※応募多数の場合はすべて掲載できない場合があります。予めご了承ください。

やる気さえ
非力だ
夫の「また行くの?」
戸谷亮平さん

優しいは
ブルーメランのよう
我が身へと
平谷亮平さん

ゴミ拾う
君の背中が
美しい
ほこちゃん

何気なく
気配りできる
君がいい
ほこちゃん

やさしさに気づく温かい視線を感じますよ
ほこちゃん

通せんぼ
欲と偽善にや
回れ右!
ほこちゃん

寒い季節に、心も和む、ユーモアたっぷり温かい川柳。第3回いって参りましょう。



第3回

負けじと副センター長も独り言

The best horse stumbles. 駿馬もつまずくんだから… 時にはつまづくこともあるでしょう。しかし、つまずいても障害物は越えていきますよ。